

私たちは文化財をとおして  
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



財団法人滋賀県文化財保護協会  
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage

季刊 みる・きく・ふれる 文化財

# おうみ文化財通信

vol. 6

Information of Cultural Heritage in OHMI

2011 Winter

## 【調査課速報】

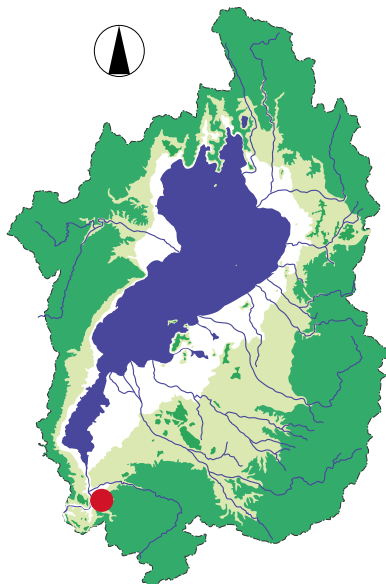
せきのつじょう  
大津市関津三丁目関津城遺跡

# 関津城内から 土蔵を検出！

■関津城は、大津市の南部、瀬田川に接した田上山系北麓の丘陵先端部に位置する中世山城です。承久3年(1221年)の承久の乱後、佐々木六角氏の旗頭青地氏に属する宇野氏の居城であると考えられています。

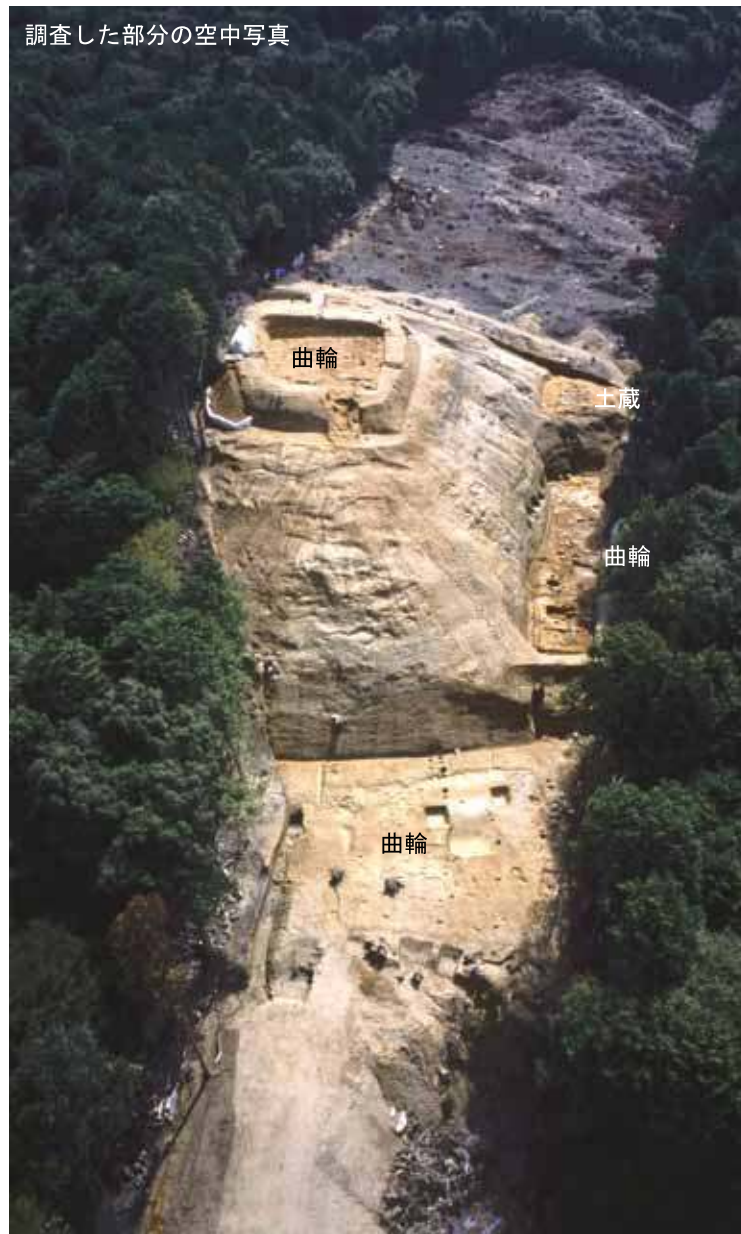
この城の発掘調査は平成21年度から実施しており、これまでの調査の結果、土塁に囲まれた3つの曲輪(くるわ)・切り岸・虎口(にぐち)などを確認しました。

曲輪内からは、礎石建物・井戸などの遺構、輸入陶磁器・銅製飾り金具・甲冑の一部などの遺物が見つかっています。



●関津城遺跡の位置

調査した部分の空中写真



みつかった土蔵

土蔵は火事によって被災していたため土壁の基礎部が直立した状態で残っていました。壁の厚さは約30cm、残存高は20cm、土壁の基礎には一辺約30～50cmの地覆石が敷き並べてあり、壁の内側には直径約15cmの炭化した柱も残存していました。土蔵の内部からは、多数の鉄釘とともに大量の炭化米が出土していることから、米蔵として使われていたと考えられます。

\* 関津城遺跡の現地説明会資料は当協会ホームページ(<http://www.shiga-bunkazai.jp/>)からダウンロードできます。



展示

【琵琶湖文化館通信—あきつ君 だより】 滋賀県立安土城考古博物館で開催中！

# 『四季の花に遊ぶ鳥—琵琶湖文化館所蔵品から—』

■わたしたちの暮らしは、季節の移り変わりに大きな影響を受けています。春・夏・秋・冬それぞれの季節をより快適に、より楽しみながら暮らすために、季節の移ろいに気を配りながら、生活に季節を取り込んできました。

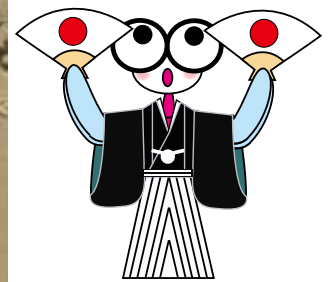
とくに、花や鳥、虫などを題材にして制作された花鳥画は、中国・唐代におこった伝統的な画題の一つです。身近な季節の風景が表現された花鳥画は、室内飾りとして幅広く受容されました。風にたなびく花、雪をかぶった花、そしてこれらの花々に遊ぶ可愛らしい鳥たちの姿は、わたしたちの心を躍らせ、心豊かな時間を過ごさせてくれます。



聖羽碧叢図 (せいはいへきそうず)  
長谷川玉純 筆 (部分)



寒華傲雪図 (かんかごうせつず)  
山本梅逸 筆 (部分)



文化館キャラクター  
とんぼの『あきつ君』

本展は、花鳥画を中心に、いきいきとした美しい四季の花とそこに遊ぶ鳥たちの世界を描いた近世絵画と焼き物をあわせて20点紹介します。特に「聖羽碧叢図」が展示会に出品されるのは35年ぶりのことであり、新春を迎えるに相応しいこの華やかな金屏風をぜひご覧いただければと思います。

会場：滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室  
会期：平成22年12月4日(土)～平成23年1月23日(日)  
\*休館日：月曜(祝日・振替休日の場合は翌日)・12/28～1/4  
入場料：大人450円(360円)・高大生250円(200円)・  
小中生・障害者および県内在住の65歳以上の方無料。  
\*カッコ内は団体料金(20名以上)  
問合せ先：滋賀県立安土城考古博物館 (0748-46-2424)



講演  
展示  
体験

【調査整理課通信】埋蔵文化財整理調査成果報告会

# あの遺跡は今！ Part 12

今年もやります！

■遺跡調査は発掘だけではありません。遺跡からみつかった土器や石器などを詳しく調べて報告書にまとめます。そのなかで新たな発見もあります。今回は、今年度整理調査を行った遺跡のなかから、縄文時代にスポットを当てて、調査の成果を報告します。また、普段は立ち入れない整理室を公開し、整理作業を体験していただけるほか、オリジナルグッズの製作体験も実施します。考古学に興味のある方に必見のイベントです☆



夏の1コマ：パズル（接合）に挑戦中！

日時：平成23年2月20日（日）9:00～17:00  
会場：滋賀県立安土城考古博物館 1階整理室  
（報告会：2階セミナールーム）

内容：①報告会  
「縄文人のくらしー出土遺物からみた縄文人の生と死ー」  
（13:00～15:00、12:30受付開始）  
②出土品展示  
③整理作業公開・体験（随時受付）  
④オリジナル土偶ストラップ製作（随時受付・先着80名）

入場料：無料（ただし、製作体験は材料費が、博物館の展示見学には別途入館料が必要です。）

問合せ先：財団法人滋賀県文化財保護協会 調査整理課  
（0748-46-4861）

講演

【埋文センター通信】 滋賀県埋蔵文化財センター研究会

# 土の中から歴史がみえる'10

－最新の発掘調査から－

歴史ファン必見！

県内の最新調査成果のエッセンスを1日でお伝えします！

■平成22年度も県内あちこちで発掘調査が実施され、いろいろな発見がありました。そんな新発見のなかからえりすぐった調査成果を、実際に調査を担当した調査員が映像をまじえて、わかりやすく紹介します。

日時：平成23年3月5日（土）9:30～16:30  
場所：ピアザ淡海県民交流センター 3階大会議室  
（大津市におの浜1丁目1-20）

\*京阪電車石坂線石場駅下車徒歩5分

入場料：無料（事前申込みは不要です）

問合せ先：滋賀県埋蔵文化財センター（077-548-9780）



【トピックス】

## 平成22年度刊行発掘調査報告書の予約受付中

■平成22年度に刊行を予定している発掘調査報告書の予約を受け付けています。当協会が県内各地で実施したさまざまな遺跡の発掘調査報告書です。

\*販売価格は12月末頃に決定します。当協会ホームページ (<http://www.shiga-bunkazai.jp/>) に掲載しますので、ご確認ください。

【予約方法】下記までお電話でお申し込み下さい。  
財団法人滋賀県文化財保護協会総務課（077-548-9780）  
また、当協会ホームページ上からもお申し込みいただけます。

\*報告書は刊行され次第、メール便もしくは送料着払いでお送りします。報告書代は同封の振込用紙にて郵便局からお支払いいただけます。なお、振込手数料は御負担をお願いします。

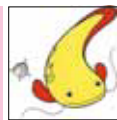
【刊行報告書一覧】

- ①夏見城遺跡（湖南市）/16世紀代の夏見城に関する堀・区画溝を検出。信楽焼・瀬戸美濃焼等多数出土。鶴・オモダカが彫金された真鍮製毛抜は美術品としても秀逸。
- ②浄土屋敷遺跡（東近江市）/15世紀代の堀と溝に区画された屋敷地を多数検出。溝内からは古瀬戸や青磁・白磁類が出土。
- ③針氏城遺跡（湖南市）/縄文時代晩期の土器や石器製作に関連するサヌカイト剥片が多数出土。
- ④金貝遺跡（東近江市）/奈良時代後半から平安時代前半代の大型掘立柱建物を含む建物群を検出。
- ⑤松原内湖遺跡（彦根市）/縄文時代早期末～前期頃の集石土坑、奈良時代後半～平安時代頃の堅穴住居・井戸等を検出。井戸から「山家」「大屋」と書かれた墨書土器が出土。
- ⑥番場遺跡（日野町）/古墳時代中期頃の河川跡を検出。堅櫛や大型網代等の木製品、手づくね土器等が出土。大型網代は国内最古段階に位置づけられる。
- ⑦志那湖底遺跡・七条浦遺跡（草津市）/琵琶湖総合開発事業に伴う調査報告書。志那湖底遺跡では縄文時代後期～晩期頃の土器棺墓を検出。七条浦遺跡では弥生土器等が出土。



【イベント情報】

## みる・きく・ふれる &lt;1~3月&gt;



## ■財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問合せ先：(TEL) 077-548-9780 / (FAX) 077-543-1525

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
1/23(日)	13:00~16:00	探訪	連続講座「もの知り学2010」オプションツアー 「新春・近江街道初参り」				<b>満員につき申込み締め切りました</b>
2/11(金:祝)~ 2/13(日)	10:00~17:00	展示	「戦国ぶるぐー近江城日記」	無	不要	無料	イオンモール草津 2階 イオンホール
2/20(日)	(報告会) 13:00~15:00	講座	埋蔵文化財調査成果報告会 「あの遺跡は今! Part12」	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
	(展示・製作体験) 9:00~17:00	展示 体験		無		100(材料費)	滋賀県立安土城考古博物館 整理作業室
3/27(日)	13:00~16:00	探訪	連続講座「もの知り学2010」オプションツアー 「特別探訪 湖北・小谷城」				<b>満員につき申込み締め切りました</b>

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

## ■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問合せ先：(TEL) 077-548-9780 / (FAX) 077-548-9682

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
3/5(土)	9:30~16:30	講演	滋賀県埋蔵文化財センター研究会 「土の中から歴史が見える '10 -最新の発掘調査から-」	300	不要	無料	ピアザ淡海県民交流セン ター 3階大会議室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc>

## ■滋賀県立安土城考古博物館主催事業■ 問合せ先：(TEL) 0748-46-2424 / (FAX) 0748-46-6140

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
1/5(水)~ 3/27(日)	9:00~17:00	展示	テーマ展「織田信長と浅井長政展」	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 第2常設展示室
平成22年12/4(土)~ 平成23年1/23(日)	9:00~17:00	展示	特別陳列 「四季の花に遊ぶ鳥一琵琶湖文化館収蔵品から」	無	不要	特別陳列 料金	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室
1/23(日)	13:30~15:00	講座	博物館講座「鉄が語る近江の古代」 講師：大道和人(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
2/11(金:祝)~ 4/3(日)	9:00~17:00	展示	第41回企画展 「近江の観音像と西国三十三所巡礼」	無	不要	企画展 料金	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室
2/27(日)	13:30~15:00	講座	博物館講座「近江の観音像と西国巡礼」 講師：山下 立(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)	140	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
3/13(日)	未定	体験	史跡案内「竹生島探訪」 *往復ハガキで事前予約が必要 (3月4日(金)消印有効)	20	要	未定	集合場所未定

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.azuchi-museum.or.jp>新刊  
案内【トピックス】 シリーズ近江の文化財第4弾を刊行しました！  
『縄文人のエコロジーとエコノミー』  
—琵琶湖の貝塚・粟津湖底第3貝塚が語る秘密—

■近江の文化財の魅力をもっと分かりやすくお伝えしたい！そんなおもいで、あらたに立ち上げた「シリーズ近江の文化財」。オールカラーで、図や写真をたっぷり盛り込み、お値段もお手軽です。

本年度は4冊を刊行しましたが、おかげさまで、はやくも品切れとなった号も出ておりますので、お早めにご購入下さい。

次年度以降も魅力あるテーマを選び、近江の文化財の素晴らしさを皆様にお伝えします。ご期待ください。

## 【シリーズ近江の文化財刊行一覧】

- ~~001~~ 甲賀郡中惣一神と城そして武士 (品切れ)
- 002 関津遺跡—近江の南の玄関口— (600円)
- ~~003~~ 琵琶湖の港と船 (品切れ)
- 004 縄文人のエコロジーとエコノミー (新刊)  
—琵琶湖の貝塚・粟津湖底第3貝塚が語る秘密—

シリーズ近江の文化財004  
縄文人のエコロジーとエコノミー  
—琵琶湖の貝塚・粟津湖底第3貝塚が語る秘密—財団法人滋賀県文化財保護協会編  
B5判並製本 48頁 価格600円

■一万数千年前、氷河期の終焉に伴って地球は温暖化し、環境は激変した。日本列島の人類は新たな適応を模索し、縄文時代が開幕する。その暮らしの秘密を琵琶湖の遺跡から探る。

\* 滋賀県埋蔵文化財センター・大垣書店(フォレオ大津一里山店)において販売しているほか、通信販売もいたしております。詳細はお問い合わせ下さい。

\* 問合せ先：財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課 (077-548-9780)

新刊

●本誌の掲載情報は平成23年1月1日現在のものです。諸般の事情により内容などが変更される場合がありますので、お出かけの際はご確認ください。また、当協会が主催する各種イベントや刊行物等の各種情報は、ホームページ上に随時更新し、掲載しております。あわせてご覧下さい。

☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>